

2. 経済学史

マクロ経済で習うこと

市場	生産物市場	貨幣市場	労働市場
供給	生産要素 資本、労働	マネーサプライ	労働者 (失業率)
需要	消費・投資	貨幣需要	企業
価格	物価 (消費者物価 卸売物価)	利子率 (国債利回り)	賃金 (雇用者所得)

経済学史

①古典派

アダムスミス(1723-90) イギリスの法哲学の教授

著書 () 本題は、『諸国民の富の本質と原因に関する研究』

キーワード ()

「私達が食事にありつけるのは精肉店、酒屋、パン屋の博愛心のおかげでなく、彼らの自己利益への配慮のおかげだ」『国富論』(1776)

- ・ 富とは、貨幣（金銀）ではなく国民が年々に消費するいっさいの生活必需品や便益品
- ・ 文明国のもっとも貧しい人でさえ、未開人の国王より多くの消費財を消費している
何が原因か？ ()

→ピン・マニュファクチュアのたとえ

もし職人が1人だけでピンをつくるなら、一日一本のピンを作るのも容易ではない。しかし、10人の労働者が分担して働けば、1人当たり1日4800本ものピンを作ることができる。

- ・ グループ活動をなぜ行うのか？

1人でやるよりも、大勢でやった方が成果があがるから。

リカード(1772-1823) 証券会社出身 貿易自由化賛成
 支配的な理論 重商主義 (輸出で稼いで、輸入を制限する)

理論 () 『経済学および課税の原理』(1817)

生産物1単位を作る のに必要な労働		国	
		英国	ポルトガル
生 産 物	布地	100人	90人
	ワイン	120人	80人

布地の価値=ワインの価値

- ・英国とポルトガルが布地とワインを1単位ずつ生産すると何人必要か？
- ・英国が布地、ポルトガルがワインをそれぞれ2単位生産し、布地とワインを1単位ずつ交換すると、何人必要か？

マルサス(1766-1834) 牧師 貿易自由化反対

貧困や悪徳は社会制度から生ずるのではなく、人口法則の結果。
 社会を経験的事実から考えようとした(それまでは、政治的な思想から社会のあるべき姿を
 考えることが多かった)。

著書 (『 』(1798))

人口は25年ごとに等比級数的に増えるが、食料は25年ごとに等差級数的にしか増えない。

人口=1 → → →

食料=1 → → →

25歳に、子供を4人産むことを想定。需要不足を心配

- ・思うがままに子供を産むのではなく、晩婚によって出生率を下がるのが望ましい。
- ・私有財産制は生産への刺激を与え、子供の扶養義務を親が負えば結婚制度は人口の抑制につながる。

②ケインズ vs 新古典派

ケインズと新古典派の大胆なイメージは次の感じ。

ケインズ	公平	エリート意識	政府	失業は困る	情緒的
新古典派	効率	弱肉強食	市場	失業はない	理性的

	需要 or 供給	政府 or 市場	財政政策 or 金融政策
ケインズ			
新古典派			

大学教育に置き換えてみると？（新古典派的解釈）

学生は授業料を払って教育サービスを受ける。

授業を受けないのは、学生の責任。

授業についていけない学生に合わせてと進行が遅れる。

単位が取れないのは、能力がないのではなく、自発的にとらない。

ケインズ（ケインジアン）

民間部門は不安定＝市場原理だけではだめ＝政府のコントロールが必要

恐慌の原因＝（有効）需要の不足 → 非自発的失業（市場にまかせるだけでは無理）

解決策＝消費や投資など需要を増やす

新古典派

民間部門は安定的＝市場に任せれば良い＝政府は小さいほうが良い
 恐慌の原因＝政府の介入

マネタリズム フリードマン

政府はなにもせず、貨幣供給量を一定にすればよい。

貨幣供給量（マネーサプライ）→ GDP

「貨幣供給量を安定的に増やせば、GDPも安定的に増える」

自然失業率→ 政府には財政政策では除去できない失業がある。

サプライサイド経済学

企業が活発に活動できるような政策が重要

減税、「小さな政府」

合理的期待形成学派

人々は合理的に行動しているので、政府の政策は無駄に終る。

Q. マネタリストとは何か？マネタリズムが良く分からない。

A. マネタリーとは貨幣のこと。物を買うときはものと反対にお金が動く。普通はものの動きに注目するが、マネタリストはお金の動きに注目する。

「～ist」は「～主義者」という意味。直訳すれば、貨幣主義者。

③マルクス

著書（ ）

④シュンペーター

キーワード（ ）

企業の役割は、馬車の生産台数を増やすことではなく、自動車を作り出すことだ。

よくある質問

Q. 経済学にはいろいろな考えがあり、どの考えがいいのでしょうか？答えは一つではないのかな？難しい。

とくに答えはありません。趣味とか思想とかの問題です。そのとき習っている先生の影響とか。効率（新古典派）と公平（ケインズ）と考えるとどちらが好みかわかるかもしれません。短期的にはケインズ、長期的には新古典派が正しいとも言われています。

Q. 市場経済派か政府介入派か分かれてしまっているけれど、なぜ中立派（というより、両方のいいところをとろうとする派）がないのだろうか。弱点を補ってやった方が不況の脱出はできると思うのに。

政府はそういう感じで取り扱っていますが、「日和見的」とも言われています。

Q. なぜケインズ経済学が経済学の基礎になったのですか。

ケインズはマクロ経済学の創始者。それまでは個人単位で経済学の枠組みを考えていたが、国単位で考える方法を編み出した。

Q. 投資って政府だけでなく民間の企業もやるのですか。

投資はだれでもやります。あるお金の使い道には、消費と投資があります。消費は使うこと自体で満足感をえるもの。投資は、使うことで将来の収益を期待するものです。

証券投資＝株に投資して将来値上がり益を狙う。

公共投資＝道路や橋を作って、国民みんなの利益になるようにする。

設備投資＝工場や店舗を作って、より儲かるようにする。